

矢作川探訪マップ



豊田市民芸館

日本民芸運動の創始者・柳宗悦氏が東京駒場に創設した日本民芸館の一部を譲り受けて昭和56年にオープンしました。この民芸館を中心にさなげ古窯記念館や登り窯があります。

魚がそ上するための魚道があります。春にはアユのそ上を見ることができます。

橋の上からダム全景と勘八峡の峡谷が一望できます。



古岸水辺公園

古岸水辺公園は、矢作川の水があたる場所にあるため、河岸の保護を目的として巨石の水制工があります。毎年5月に行われる「いかだ下り」のスタート地点にもなります。



波岩水辺公園

大きな岩がいっぱいある公園です。石の上からみる矢作川や勘八峡の眺めは、最高です。



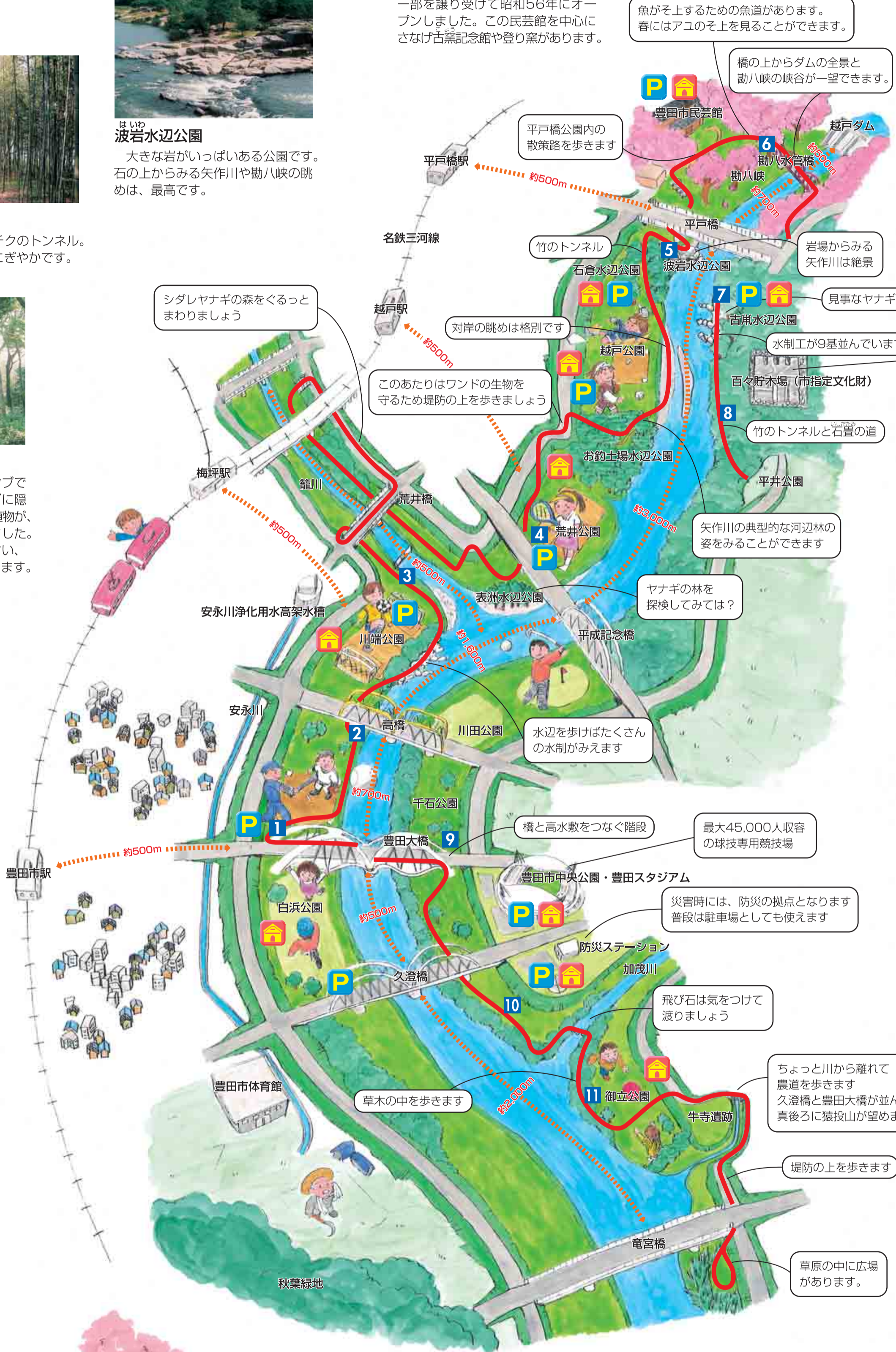
石倉水辺公園

マダケとモウソウチクのトンネル。風が吹くととってもにぎやかです。



お釣土場水辺公園

以前は、うっそうとした竹ヤブでした。竹を間引いたら、竹ヤブに隠れて元気がなかったいろいろな植物が、いまではすっかり元気になりました。土場というのは川港のことを言い、ここには昔の船着場も残っています。



シダレヤナギの森をぐるっとまわしましょう

対岸の眺めは格別です

このあたりはワンドの生物を守るため堤防の上を歩きましょう

見事なヤナギ林

水制工が9基並んでいます

カキツバタがいっぱい

竹のトンネルと石畳の道

矢作川の典型的な河辺林の姿をみることができます

ヤナギの林を探検してみは？

水辺を歩けばたくさん水制が見えます

橋と高水敷をつなぐ階段

最大45,000人収容の球技専用競技場

災害時には、防災の拠点となります
普段は駐車場としても使えます

飛び石は気をつけて渡りましょう

ちょっと川から離れて農道を歩きます
久澄橋と豊田大橋が並んで見え、真後ろに猿投山が望めます。

堤防の上を歩きます

草原の中に広場があります。



どろどろ 百々貯木場

百々貯木場は、舟運が盛んであった大正時代中頃～昭和初期の間に利用されていたものです。貯木場では、いかだを組んでさらに下流へ運ぶものと、製材するものとに仕分けされました。



豊田大橋

平成11年3月に完成した大橋です。橋の上に広場があったり、橋の途中から、高水敷に降りられるようになっているなど、楽しい橋です。

- 駐車場
- トイレ
- 散策ルート

